

パパの大飛行



アリスとマーティン・プロヴェンセン 作

脇 明子 訳

福音館書店 1986年 絶版

40ページ 22×27cm

世界初の英仏海峡横断に成功したルイ・ブレリオの伝記絵本です。絵のタッチは落ち着いていますが、細部まで描かれた絵は、文章にはない登場人物や時代の背景をユーモアたっぷりに伝えてくれます。また、文章は淡々としていますが、なかなか飛ばない飛行機や、懲りずに何度も挑戦し、結局松葉杖をもって英仏海峡横断に望むブレリオパパなど、無鉄砲でユーモアあふれる飛行機乗りの姿をよく現しています。小学校高学年以上向けの作品ですが、飛行機のなかった時代に飛びことを夢見た人たちの熱い思いに、大人でも心が奪われます。読み終わった後は、最初に描かれている新聞記事にもどってよく見てみてください。きっと笑わずにはいられません。

はらぺこあおむし



エリック・カール さく

もり ひさし やく

偕成社 1976年 1260円

25ページ 22×30cm

あたたかい日曜日の朝、ちいさなたまごからあおむしが生まれました。あおむしは、月曜日にりんごをひとつ、火曜日になしをふたつ・・・とくだものやおかしを一週間食べ続けますが、食べても食べてもおなかはぺっこぺこです。あおむしが食べ過ぎておなかをこわす場面で、子ども達は、自分とあおむしを重ね合わせて読んでしまいます。まるく穴をあけてあおむしが食べた跡を表現したり、食べたものの数が増えるにしたがってページの大きさを変えたりと、あおむしが立派な羽を広げた蝶となるまでの生命の営みを、エリック・カールは豊かな色彩と工夫されたしかけにより、生き生きと表現しています。

